

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年12月8日 (2011.12.8)

【公開番号】特開2010-68531(P2010-68531A)

【公開日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-249655(P2009-249655)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/85 (2006.01)

H 0 4 N 5/265 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 27/34 (2006.01)

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/85 Z

H 0 4 N 5/265

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 1 1 B 27/34 S

G 1 1 B 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月24日 (2011.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 7 】

ステップ S 5 4 は、ステップ S 5 3 が 0 でないと判定された場合、実行される判定ステップであり、PSR14に格納された番号XがSTN_tableにおけるstream_entryの総数以下であり、且つ、条件(A)を満たすかどうかを判定する。このステップ S 5 4 がNoと判定されたなら、後述する図 2 8 のフローチャートの手順を実行することでカレントPlayItemについて最適なストリームを選択する(ステップ S 5 5)。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 8 】

もしステップ S 5 4 において、Yesと判定されたなら、ステップ S 5 6 の判定ステップを実行する。この判定ステップは、条件(B)を満たすかどうかを判定するものである。条件(B)を満たせば、ステップ S 5 8 におけるPSR14に、0xFEを設定する。この0xFEは、PSR14におけるセカンダリビデオストリーム番号はValidだが、セカンダリビデオストリームは非選択であることを意味する値である。非同期ピクチャインピクチャの実行時において、かかる値をPSR14に設定しておけば、ユーザ操作があった際、Procedure when stream cha

nge is requestedが実行されることになる。しかし、仮に、PSR14のストリーム番号がInvalidであれば、たとえユーザ操作がなされたとしても、Procedure when stream change is requestedは実行されず、いつまでたっても、セカンダリビデオストリームが再生されないという事態に陥る。これを避けるため、非同期ピクチャインピクチャの実行時においては、PSR14に0xFEを設定することにしている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 1 8】

ステップ S 1 1 4 では、セカンダリオーディオストリーム番号が、カレントPlayItemにおけるSTN_tableのstream_entry数以下であり、尚且つ、条件(A)を満たすかどうかを判定する。もし満たすなら、有効なセカンダリオーディオストリーム番号が既にPSR14に存在すると考えられるので、これを変化させない(ステップ S 1 1 7)。満たさないなら、カレントPlayItemについて最適なセカンダリオーディオストリームを選択する(ステップ S 1 1 5)。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 4】

